

白岡市議会議員

# 渡辺そういちろう

## 市政通信 2月号



オミクロン株の爆発的な感染拡大でまん延防止等重点措置が発令されました。マスコミ等では過剰な報道も見られる事がありますが、正しく恐れ、基本的な感染対策を徹底する事が重要と考えます。市では3回目のワクチン接種がスタートしています。不明な点は是非お問い合わせください。

### まん延防止等重点措置

#### 「白岡市も対象区域に」

白岡市でも新型コロナ感染者数が再び増加しています。先日は市内高校でもクラスターが発生しました。県からはまん延防止措置に基づき、飲食店の時短営業、不要不急の県境をまたぐ移動の自粛、三密の回避などが要請されています。今回のまん防では「ワクチン・検査パッケージ制度」の登録店に限り、酒類提供が認められます。

白岡市においても県の措置に基づき感染防止対策等が進められます。



・白岡市の陽性者の状況（幸手保健所提供：1月15日現在）

| 現在の患者数 | 入院中 | 宿泊療養 | 自宅療養 | 入院調整中 |
|--------|-----|------|------|-------|
| 17人    | 2人  | 6人   | 9人   | 0人    |

#### Point

「ワクチン・検査パッケージ制度」とは飲食店等の事業者が、入店者のワクチン接種歴やコロナ陰性結果を確認する事で、人数や酒類提供の制限を緩和する制度です。事業者は県に登録が必要です。お店の利用者はワクチン接種済証等の提示が求められます。



#### 「渡辺そういちろうの考えは」

何より医療体制の強化が必要です。以前は県の保健所が業務過多で、対応できない状況が続きました。保健所の業務の中で担えるところは市が担い、業務逼迫を防ぐことを訴えてきました。現在は市による自宅療養者への支援等、業務の分担が始まりました。市と県と国で役割分担を進めていく事が重要と考えています。



#### Point

オミクロン株は爆発的な感染力がありますが、重症化リスクはデルタ株と比べて低いという報告もあります（世界保健機関, 1/4）。感染が増えれば重症者も増えますが、オミクロンをこのまま2類感染症として扱うのか、通常医療に近づけるかの議論は必要だと思います。

